



第68回 HBS研究部 先端医研テクニカルセミナー

生命科学研究用ソフト『Subio Platform』セミナー

総合研究支援センター 先端医療研究部門では、皆様の研究にお役に立つようなテクニカルセミナーをシリーズで開いております。

今回は国産の生命科学研究用ソフト『Subio Platform』について株式会社 Subio 代表取締役 田部様にご紹介頂きます。是非とも多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日時 : 平成23年6月10日(金) 16:00 ~

場所 : 基礎第2講義室(医学部基礎A棟とB棟の間 2階)

講師 : 株式会社Subio 代表取締役 田部 暁郎

Subioプラットフォームを用いた遺伝子発現解析の実際

事前に連絡を取れば、講演後に個別で指導もしていただけるようです。

ご連絡先メールアドレス : support@subio.jp

プログラム

| | | | |
|---------------|----------------------------|-----------|--------|
| 16:00 ~ 16:05 | はじめに | 先端医療研究部門長 | 佐々木 卓也 |
| 16:05 ~ | Subio PlatformによるOmicsの解析法 | | 田部 暁郎 |

概要

オミクス(遺伝子の網羅的解析)は、抗癌剤の開発や再生医療など最先端の医薬研究に欠かせないものとなっています。このような研究には、専門的な解析ソフトが不可欠ですが、非常に高価な海外製品か、無料だが難しくて特別な技術を持つ人にしか使えないソフトしかなく、生命科学の研究に携わるほとんどの研究者にとって非常に敷居の高いものでした。特に日本では、生命科学研究用の機材、薬品、ソフトウェアなどの価格が海外に比べて数倍高く、多くの若手研究者や学生が、最先端の技術動向に追いつくことが難しい状況が深刻化しており、バイオ産業における研究開発の空洞化が懸念されています。

このような危機的状況を改善すべく、『Subio Platform』は誰でも無料でダウンロードして利用できるうえ、世界最高のデータビューワーを備えており、ITに馴染みの薄い実験中心の若手研究者や学生にオミクスの門戸を広げました。

解析機能はプラグインで提供しており、世界最低の費用(海外製品の国内価格に比べて50分の1から4分の1程度)で導入することができます。高価な海外製品からの乗り換えはもちろんですが、これまでエクセルや無料ソフトを使っていた研究者の間にも広がりしました。